

令和七年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、春の花が咲き誇り緑の風が薫るこの岐阜県立国際園芸アカデミーへのご入学おめでとうございます。

ご列席のご家族の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。

本日、皆様とともに入学式を挙行できますことは、誠に大きな喜びでございます。

また、この度はご多忙にも関わらず、岐阜県議会の伊藤副議長はじめ議員の皆様、可児市副市長様、そして多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

皆様方には、平素から本校の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことにこの場をお借りしまして改めて厚く御礼申し上げます。

さて、国際園芸アカデミーは開学以来二十年が経ち、これまで卒業生は、それぞれが生産法人、園芸流通・小売業、造園施工、公園管理などの幅広い分野において活躍してくれています。

皆さんは、花と緑に関心を持ち、花と緑が好きで、花と緑について学び、将来は花と緑に関わる仕事に就きたいという熱い思いでこのアカデミーに入学してきましたはずです。

皆さんが学んでいく中では、いろいろな困難なことに間違いなくぶつかります。嫌いなことであればただ耐え忍ぶのは我慢ですが、我慢の先には不満があります。つか耐えられなくなって爆発してしまいます。

しかし、自分が好きなことのために耐え忍ぶのは辛抱であり、辛抱の先には希望があり、いずれ花が開きます。

我慢しないでいいから少しばかり辛抱しましょう。

花とみどりに関する知識や技能・技術を身に付けていくのはもちろんのことですが、その「技能・技術」を磨く前に「人間」を磨いてください。つまり人間性、

人格、徳といわれるものです。

人のいいところを見つめるために「目」を使ってください。
人に感謝するために「口」を使ってください。

人を助けるために「手足」を使ってください。

相手の思いを聞くために「耳」を使ってください。

学びのために「頭」を使ってください。

人の痛みに気づき寄り添うために「心」を使ってください。

大切なことを成し遂げるために「時間」を使ってください。

そのようなことに心がけて、是非、国際園芸アカデミーでの2年間を大切に
して、時間を無駄にせず勉強に励み、悔いのない充実した学生生活を過ごして
ください。

そのために私たち教職員は、意欲のある皆さんを、励まし、相談に乗り、育
ていく責任を自覚しています。皆さんが、熱意と遊び心を持ちながら学修に向
き合い、皆さん自身も成長と幸福を感じることでできるアカデミーを共につく
っていきましょう。

最後に、新入生の皆さん一人ひとりが肉体的、精神的そして社会的にも健康で、
新たな友人や二年生を始めとした多くの良き縁に出会い、その縁を生かして有意
義な学校生活を送られることを心から願い、私の式辞といたします。

令和七年四月九日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共